

中部地域における産業公害防止技術等 環境ビジネス展開調査

平成25年 11月
経済産業省中部経済産業局環境・リサイクル課
公益財団法人国際環境技術移転センター

◆ご協力のお願について

我が国の環境ビジネスの市場規模は約82兆円、雇用規模で約227万人と昨年に続き増加傾向となっております。また、日本の高い環境技術は海外でも注目を浴びる存在となっております。

中部経済産業局では、当地域が持つものづくり産業の集積を背景に動脈産業を支える高度な環境対策技術が当地域の強みとして捉え、これを支える環境ビジネスの更なる成長・発展に向けた支援策の策定を進めております。

昨年度は、環境ビジネスに取り組まれている企業の調査を実施し、『中部地域の環境ビジネスに取り組む企業データベース』及び『技術シーズ集』の企業情報の作成や企業マッチングといった施策に繋げてまいりました。

この企業情報については、機会のある毎に国内外の関係機関にお渡しするとともに中部経済産業局ホームページの閲覧によって、国内外からの問い合わせや実際の企業訪問といったところで、掲載企業のビジネスチャンスに繋がっております。

今年度も、当局では、より実践的な支援策の提供を目的とし、公益財団法人国際環境技術移転センター（ICETT）に委託し、アンケート調査を実施することで、企業間連携（マッチング）の促進、ビジネス活性化の施策（研究会、検討会、セミナー等）の立案等に活用してまいります。

また、ご提示いただいた企業情報は『中部地域の環境ビジネスに取り組む企業データベース』の拡充に当たるとともに、今後も国内外に情報を発信してまいりますので、貴社の事業活動のPRとしてご活用いただけます。

貴社におかれましては本調査の趣旨をご理解いただき、ご多忙のところ恐縮ではございますが、本調査にご協力下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成 24 年度調査結果 : <http://www.chubu.meti.go.jp/kankyo/data/O314report.pdf>

中部地域の環境ビジネスに
取り組む企業データベース : http://www.chubu.meti.go.jp/kankyo/kankyo_business.htm

◆お答えいただいた情報の扱い

本アンケート調査票は、各県、関係機関からの情報及び商用の企業データベース等を活用し、環境ビジネス関連業種分野から抽出した企業の皆様にお送りしております。

お答えいただいた内容は、「中部地域の環境ビジネスに取り組む企業データベース」への掲載項目としてご了解いただいた内容を除き、全て統計処理をし集計結果のみを公表いたしますので、個別情報は一切特定されません。

また、情報保護の観点から厳重に管理し、本調査の目的以外に使用することや、外部へ提供することはありません。

◆回答方法

本アンケート調査票の回答欄に直接ご記入いただくか、下記のホームページからダウンロードのうえご記入いただき、11月29日（金）までに、以下のいずれかの方法でご回答ください。

調査票データのダウンロード（Microsoft Word 版及びAdobe PDF 版）はこちらから：<http://www.icett.or.jp/chousa/chubu/h25envbizq.html>

1. 郵送：同封の返信用封筒に封入の上、ご投函ください(切手は不要)。その際、貴社の会社概要や製品リーフレットなどもご同封いただけると幸いです。

2. FAX：059-329-8115まで、ご送付ください。

3. E-mail：masuda@icett.or.jp

HP から調査票をダウンロードのうえ、E-mail添付にてご回答ください。

【返信及びお問い合わせ先】

公益財団法人 国際環境技術移転センター（略称「ICETT（アイセット）」）
（担当：増田英一、南川恵津子）

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684番地の11

TEL：059-329-3500 FAX：059-329-8115

E-mail：masuda@icett.or.jp

【本調査の趣旨に関するお問い合わせ】

経済産業省 中部経済産業局 環境・リサイクル課

〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番2号

TEL：052-951-2768 FAX：052-951-2568

I 貴事業所における現在の環境ビジネスについておたずねします。

Q1. 貴事業所が保有する環境ビジネスの分野の技術・製品・サービスの主なもの(売上の高い順)について具体的にお聞かせください。(不都合がなければ調査票ご返送時にパンフレットを同封ください)

	技術・製品・サービス名	技術・製品・サービス内容	特 徴 (アピールポイント)	
			性能等	客先利点
1	対象市場 (ターゲットとするユーザー等)			
	競合製品・サービス			
2	対象市場 (ターゲットとするユーザー等)			
	競合製品・サービス			
3	対象市場 (ターゲットとするユーザー等)			
	競合製品・サービス			

Q2. 貴事業所で環境ビジネスとして実施されている事業について、「分野」、「業態」、「対象市場」をお聞かせください。

〔「分野」については、表下の「選択肢A」から選択し、記号を記入してください。〕
 〔「業態」については、表下の「選択肢B」から選択し、記号を記入してください。（複数回答可）〕

	A.分野	B.業態	C.対象市場
1	() , () , () , () , ()	() , () , () , () , ()	a) 国内 b) 海外
2	() , () , () , () , ()	() , () , () , () , ()	a) 国内 b) 海外
3	() , () , () , () , ()	() , () , () , () , ()	a) 国内 b) 海外
4	分野・業態がどれにもあてはまらない		IV Q10にお進みください (8 ページ)

選択肢 A 分野の選択肢

A) 大気汚染防止, B) 下水・排水処理, C) 土壌・水質浄化, D) 騒音・振動防止, E) 環境測定、分析、監視、アセスメント等,
 F) その他の環境汚染防止全般, G) 廃棄物処理, H) リサイクル, I) バイオマス, J) 水資源利用 (上水、雨水、中水、節水),
 K) 環境教育や環境管理コンサルティング等, L) 環境に関する開発や研究,
 M) エコプロダクト (環境保全、省資源・資源有効活用), N) その他の環境ビジネス

選択肢 B 業態の選択肢

a) 部材・部品・薬液等の製造・販売, b) 機器・装置の開発・製造・販売, c) システム設計・施工,
 d) 装置・機器の運転・保守, e) 物質・物体の処分・処置, f) コンサル・技術指導, g) 技術を保有

Q3. 貴事業所の環境ビジネスの「開始年度」、「販路形態」、「連携の有無」、「サプライチェーンの直近上流・下流」、「今後3年の成長期待度」をお聞かせください。

〔「販路の形態」については、表下の「選択肢A」から選択し、記号を記入してください。（複数回答可）〕
 〔「サプライチェーン直近上流・下流」については、表下の「選択肢B」から選択し、記号を記入してください。（複数回答可）〕
 〔「3年後の成長期待度」については、表下の「選択肢C」の選択肢から選択し、記号を記入してください。〕

		開始年(西暦)	A.販路の形態	連携の有無	B.サプライチェーン直近上流・下流	C. 今後3年の成長の期待度
国内	1	年		有・無	() → 貴社 → ()	
	2	年		有・無	() → 貴社 → ()	
	3	年		有・無	() → 貴社 → ()	
海外	1	国名		有・無	() → 貴社 → ()	
		年			海外における取引相手	
	2	国名		有・無	() → 貴社 → ()	
		年			海外における取引相手	
	3	国名		有・無	() → 貴社 → ()	
		年			海外における取引相手	

選択肢 A 販路の形態の選択肢

a) 直接ユーザーへの販売, b) ユーザーからの直接受注, c) 代理店・商社を通して販売, d) 企業間取引で販売,
 e) 補助金を基にした設置・提供, f) ODA を通じての設置・提供, g) その他

選択肢 B サプライチェーンの選択肢

a) 企業(素材・部材・部品製造), b) 企業(機器・装置製造), c) 企業(システム設計・施工), d) 企業(装置・機器の運転・保守),
 e) 企業(物質・物体の処分・処置), f) 企業(物質・物体の集積), g) 企業(建設資材), h) ユーザー

選択肢 C 3年後の成長期待度の選択肢

a) 大いに期待している, b) まあ期待している, c) 横ばいと思っている, d) わからない

Q4. 貴事業所の環境ビジネスでの製品・サービスに対するニーズはどのようなものかお聞かせください。

A (左側)の「ニーズの要素に関する設問」には、①～⑥の各ニーズ要素の数値に○印を付け、ニーズの高さをお示ください。尺度：1は「ニーズがあるが高くない」、3は「ニーズが高い」、5は「ニーズがとても高い」
 B～Gの各ニーズ要素には、あてはまるものに○印をお付けください。
 Hの「耐久性」の要素には、あてはまるものに○印をお付けいただき、その耐久期間を()内にお書きください。
 Iの「自社製品とニーズの合致」には、ニーズ要素①～⑥の数字をa～dの当てはまるところにお書きください。

【国内】顧客のニーズ

A) ニーズの要素に関する設問 	B) 初期コストとランニングコスト	初期コストを重視 ← 1 2 3 4 5 → ランニングコスト重視		
	C) ランニングコストと処理能力の高さ	ランニングコスト重視 ← 1 2 3 4 5 → 処理能力の高さを重視		
	D) 初期コストと処理能力の高さ	初期コストを重視 ← 1 2 3 4 5 → 処理能力の高さを重視		
	E) 処理能力の高さ	a) 法令・規制に対する裕度 b) 処理の広さ c) 付随機能の有無 d) 処理時間の早さ e) 前・後処理が不要 f) 残渣が出ない g) その他 ()		
	F) 操作性	a) 操作・監視不要 b) 定例の監視のみ c) スタート・ストップボタンのみ d) スタート・ストップ操作のみ e) その他 ()		
	G) メンテナンスのしやすさ	a) フリーメンテナンス b) 部品消耗品の入手が容易 c) コンパクト d) メンテナンススペースが不要 e) トラブル時の即応性(サービス体制) f) その他 ()		
	H) 耐久性	a) 耐用年数 b) 定期点検インターバル c) 効果持続時間 d) 保管期間 () 年		
	I) 自社製品・サービスとニーズの合致	a. 合致している	b. ほぼ合致している	c. 合致していない

【海外】顧客のニーズ

A) ニーズの要素に関する設問 	B) 初期コストとランニングコスト	初期コストを重視 ← 1 2 3 4 5 → ランニングコスト重視		
	C) ランニングコストと処理能力の高さ	ランニングコスト重視 ← 1 2 3 4 5 → 処理能力の高さを重視		
	D) 初期コストと処理能力の高さ	初期コストを重視 ← 1 2 3 4 5 → 処理能力の高さを重視		
	E) 処理能力の高さ	a) 法令・規制に対する裕度 b) 処理の広さ c) 付随機能の有無 d) 処理時間の早さ e) 前・後処理が不要 f) 残渣が出ない g) その他 ()		
	F) 操作性	a) 操作・監視不要 b) 定例の監視のみ c) スタート・ストップボタンのみ d) スタート・ストップ操作のみ e) その他 ()		
	G) メンテナンスのしやすさ	a) フリーメンテナンス b) 部品消耗品の入手が容易 c) コンパクト d) メンテナンススペースが不要 e) トラブル時の即応性(サービス体制) f) その他 ()		
	H) 耐久性	a) 耐用年数 b) 定期点検インターバル c) 効果持続時間 d) 保管期間 () 年		
	I) 自社製品・サービスとニーズの合致	a. 合致している	b. ほぼ合致している	c. 合致していない

Q5. 貴事業所の環境ビジネスにおける課題（解決しなければならない内的問題）・障壁（妨げとなる外的問題）とその対応策についてお聞かせください。

（課題がある項目の記号に○印を付け、さしつかえのない範囲で具体的内容をご記入ください。）

これまでに顕在化している課題・障壁		現在、行っている対応策
国内展開	a) 技術的な課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	b) 人材的な課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	c) 資金に関する課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	d) コストに関する課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	e) 調達の課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	f) 販路の課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
海外展開	a) 技術的な課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	b) 人材的な課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	c) 資金に関する課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	d) コストに関する課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	e) 調達の課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	f) 販路の課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)
	g) 現地の制度的な課題・障壁 (自由記述)	(自由記述)

Q6. 中部経済産業局では、技術・販路に係る研究会の組成を検討しています。他者との連携・協力についてお伺いします。貴事業所の環境ビジネスにおいて、他者との連携を考えておられる事業内容があれば聞かせください。また、その連携での条件・連携において相手に求めているポジションについてお聞かせください。

「連携・協力についての考え」については、当てはまる記号に○印をお付けください。
 「連携・協力の相手」については、表下の「選択肢B」から選択し、記号を記入ください。(複数回答可)
 「連携・協力の相手に求めているポジション」については、表下の「選択肢C」から選択し、記号を記入ください。(複数回答可)

国内 展 開	連携・協力についての考え		a) 連携・協力を考えている b) 連携・協力を考えていない		
	1	A. 連携・協力の相手		B. 連携・協力の相手に求めるポジション	
		連携・協力の相手に求めている内容	(自由記述)		
	2	連携・協力の相手に求めている条件	(自由記述)		
		A. 連携・協力の相手		B. 連携・協力の相手に求めるポジション	
	1	連携・協力の相手に求めている内容	(自由記述)		
連携・協力の相手に求めている条件		(自由記述)			
海外 展 開	連携・協力についての考え		a) 連携・協力を考えている b) 連携・協力を考えていない		
	1	A. 連携・協力の相手		B. 連携・協力の相手に求めるポジション	
		連携・協力の相手に求めている内容	(自由記述)		
	2	連携・協力の相手に求めている条件	(自由記述)		
		A. 連携・協力の相手		B. 連携・協力の相手に求めるポジション	
	1	連携・協力の相手に求めている内容	(自由記述)		
連携・協力の相手に求めている条件		(自由記述)			

選択肢A 連携・協力の相手の選択肢

a) 国内企業, b) 海外企業, c) 国内研究機関, d) 海外研究機関, e) 国内公的機関, f) 海外公的機関, g) 金融機関, h) その他

選択肢B 連携・協力の相手に求めているポジションの選択肢

a) 技術提供, b) 販売, c) 素材・部品供給, d) 装置設計・製造, e) システム設計・調達・施工, f) 管理・運営サービス
 g) 指導・助言, h) 資金援助・協力, i) 情報提供, j) その他

II 貴事業所における環境ビジネスの新規展開についておたずねします。

Q7. 貴事業所で環境ビジネスの新規展開を検討しているかをお聞かせください。また、検討している場合には、環境ビジネスの国内展開・海外展開について検討を開始した時期・展開開始予定をお聞かせください。

〔「検討の有無」については、当てはまる記号に○印をお付けください。
「検討を開始した時期」、「展開開始予定」については、西暦でお書きください。〕

検討の有無	a) 国内展開を検討している b) 海外展開を検討している c) 国内・海外とも検討している d) 検討していない (⇒Ⅲ Q9へ (8ページ))		
検討を開始した時期	国内展開	(西暦)	年
	海外展開	(西暦)	年
展開開始予定	国内展開	(西暦)	年頃
	海外展開	(西暦)	年頃

Q8. 貴事業所が新たに展開を検討しておられる国内の市場・海外対象国やビジネスの内容、ビジネス展開選定理由をお聞かせください。

〔「ビジネス内容」については、表下の「選択肢A」から選択し、記号を記入してください。(複数回答可)
「技術開発主体」については、表下の「選択肢B」から選択し、記号を記入してください。(複数回答可)
「販路の形態」については、表下の「選択肢C」から選択し、記号を記入してください。(複数回答可)〕

国内展開	国内の新たな市場 (ターゲットとするユーザー等)		A.ビジネスの内容	市場・ビジネス内容の選定理由 (自由記述)	
	展開に向けた技術開発の要否 要・否	B.技術開発主体	C.販路の形態	新たな連携の要否 要・否	
海外展開	海外展開対象国		A.ビジネスの内容	ビジネス展開内容選定理由 (自由記述)	
	国名	今後、ターゲットとしたい国名を具体的に記載ください			
	取引相手	a) 日系企業 b) ローカル企業			
	展開に向けた技術開発の要否 要・否	B.技術開発主体	C.販路の形態	新たな連携の要否 要・否	

選択肢A ビジネスの内容の選択肢

a) 機器・装置の開発・製造・販売, b) 部材・部品・薬液等の製造・販売, c) システム設計・施工, d) 機器の運転・保守
e) コンサル・技術指導, h) 公的機関の援助・補助事業, g) その他

選択肢B 技術開発主体の選択肢

a) 自社開発, b) 業界団体研究機関, c) 国・県・市等の公的研究機関, d) 一般研究機関, e) 大学, f) 他一般企業, g) 検討・調査中

選択肢C 販路の形態の選択肢

a) 直接ユーザーへの販売, b) ユーザーからの直接受注, c) 代理店・商社を通して販売, d) 企業間取引で販売, e) 検討・調査中
f) その他

Ⅲ 今後の事業展開に対して公的機関の支援のご要望についておたずねします。

Q9. 貴事業所の環境ビジネスの事業展開において必要な支援についてお聞かせください。

(「必要な支援」については、当てはまる項目の記号に○印をお付けください。複数回答可)

A.必要な支援	a) パートナー発掘・連携 b) 企業マッチング機会の提供 c) 個別の経営相談・アドバイス d) 国内において必要とされている環境技術・製品ニーズ情報 e) 海外において必要とされている環境技術・製品ニーズ情報 f) 事業化・プロジェクト化に対する支援やコンサルティング g) 技術の高度化に関する支援やコーディネート h) 外国人研修生の受け入れに関するもの i) 分野・内容に対して間口の広い公募(補助・助成・融資) j) 使い勝手の良い助成制度(補助・融資) k) 利便性の高い融資制度
環境ビジネスの事業展開に対する支援に関してご意見をお持ちであれば、ご記入ください。(自由記述)	

Q10. 中部経済産業局では、環境ビジネスの事業展開に向けた勉強会、検討会、セミナー、マッチング等の関連事業を企画・開催しております。これら事業への参加についておたずねします。(各項目に対して、番号に○印をお付けください。)

	参加を希望する		参加を希望しない
	国内展開	海外展開	
a) 勉強会(セミナー形式)	1	2	3
b) 勉強会(意見交換会を含む形式)	1	2	3
c) 環境ビジネスの事業展開検討会・研究会 (同業・同種の企業で構成される課題等を題材)	1	2	3
d) 環境ビジネスの事業展開検討会・研究会 (サプライチェーンとなる企業で構成される連携課題等を題材)	1	2	3
g) 企業連携による環境ビジネスの事業展開に向けた マッチングイベント(集会形式)	1	2	3
h) 企業連携による環境ビジネスの事業展開に向けた マッチングイベント(企業間個別形式)	1	2	3
i) インターネット上のビジネスマッチングサイトへの 貴事業所の製品・サービスの登録	1	2	3

※関連事業への参加をご希望いただいた事業者様には、都度、案内通知を送付させていただきます。

※交通費(国内・海外)は実費負担となります。参加費は今年度は原則無料となりますが、内容により実費負担していただく場合がございます。

Q11. すでに『中部地域の環境ビジネスに取り組む企業データベース』に登録されている事業者の方におたずねします。『中部地域の環境ビジネスに取り組む企業データベース』登録の効果についてお聞かせください。(当てはまる記号に○印をお付けください。)

1	明確にデータベースを基にした問い合わせがありましたか	国内	件
	a) 問い合わせがあった ⇒ 国内・海外件数をお聞かせください b) 問い合わせはなかった	海外	件
2	データベースの登録前後で、環境ビジネスについての問い合わせは増加しましたか a) 増加した ⇒ (国内・海外・国内外共) b) 若干増加した c) 変化がなかった		
3	データベースの登録前後で、貴社のHPのアクセス数は増加しましたか a) 増加した b) 若干増加した c) 変化がなかった d) 把握していない		
4	データベースの登録が貴社の環境ビジネス展開にとって効果があったと思われませんか a) 効果があった b) まだ効果が出ていない c) 効果がなかった		

以上でアンケートは終了です。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。
お手数ですが11月29日(金)までに、ご回答願います。